

みんなの 町議会

神石高原町

第47号

平成28年7月15日

クリエイティブ演出賞を受賞



■第4回議会報告会 4

■町政のここを聞く 6

■ありやあどうなったん 12



神石踊娘隊 きらきら星

選果場 設備改修

3億7500万円

6月定例会

6月定例会は、6月7日から16日まで開かれました。

平成28年度一般会計補正予算や、神石高原町農業委員会の定数を定める条例の制定などを含め、17議案をすべて原案通り可決しました。

また、第三セクターの経営状況などの報告が7件ありました。

一般質問では、8人の議員が行政課題についていただきました。

トマト選果場

豊松トマト選果場は、平成8年から平成9年に整備されており、老朽化対策やトマト生産量の増加に伴う処理能力の向上、市場からの出荷要請に対応するため、設備の機能強化を図る。

選果機や荷受け設備の改修、また予冷庫の新設により年間計画生産数量約1600トンに対応できる施設に改修する。
(現在約1000トン/年間)



豊松トマト選果場

平成28年度
一般会計
6月補正予算
7億629万円

陽光の里

平成28年6月 一般会計 補正予算

単位:万円(四捨五入)

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲21	8,546	職員人件費 ▲20
総務費	▲384	18億 356	職員人件費 ▲1759 協働支援センター運営経費 971
民生費	1513	18億 61	臨時福祉・子育て特例給付金給付事業 1418
衛生費	6472	12億 4086	病院事業会計補助経費 6305
農林水産費	3億 6120	10億 6570	産地パワーアップ事業 3億 7500 地籍調査事業 ▲1824
商工費	363	1億 4420	起業支援サポート事業 300
土木費	▲579	7億 1512	職員人件費 579
消防費	0	4億 6065	
教育費	▲850	7億 6708	共同調理場管理運営経費 ▲232 小中高教育支援事業 999
災害復旧費	0	3	
公債費	1億 8930	15億 6547	長期債元金繰上償還経費 1億 8930
諸支出金	9065	5億 8756	財政調整基金積立経費 5947
予備費		4000	
合計	7億 629	102億 7629	

一般会計の財源は、国庫支出金1522万円、県支出金1億7367万円、繰入金2億6777万円、繰越金4424万円など、合計7億629万円を追加補正。

一般会計の財源は

特別会計・病院事業会計 補正予算

単位:万円(四捨五入)

会計名	平成28年度	
	補正予算額	補正後予算額
国民健康保険特別会計	532	12億 7912
内 事業勘定	532	12億 7532
内 診療施設勘定	0	380
後期高齢者医療特別会計	310	3億 8660
介護保険特別会計	3137	19億 4687
内 保険事業勘定	3137	19億 3137
内 介護サービス事業勘定		1550
簡易水道事業特別会計	289	3億 9009
飲料水供給施設事業特別会計	95	3615
農業集落排水事業特別会計	0	2億 4670
総合開発事業特別会計	0	590
分収育林事業特別会計		10
特別会計計	4364	42億 9154
病院事業会計	6305	3億 9502
合計	1億 670	46億 8657



配管調査をする水源の仙養ダム

議会報告会にご参加 ありがとうございました

参加者

三和会場	37人
油木会場	23人
豊松会場	22人
神石会場	22人

皆様から頂いた貴重なご意見の
主なものをご紹介します

若者定住対策は

町民

町内に居住する人を新卒採用した
ら事業所や本人に対して助成が
ある。新卒でなかったり、町内に就職しな
いと若者に助成がない。人口減少対策とし
ては地元に残った若者に平等にするのが筋
では。

議会

この制度は地元の事業者への就職
の促進・雇用の確保が目的になっ
ている。地元の若者に対しては、子育て支
援などで補助金を出しているが、将来にお
いて、総合的に考える事案なので総務文教
常任委員会で検討する。

国道182号は

町民

昨年の国道182号の崩落事故で
みんなが大変困った。なんとかし



除雪中の国道

支障木の伐採を

町民

道路で木が伸びてきて日陰になり
冬季に雪が解けず交通難所と

議会

て欲しい。
国土交通省や国会議員などに要望
をしている。

議会

なっている。伐採をお願いしたい。
町道についてはいろいろな要望を
聞いているが、財政が厳しくなっ
ていく現状にある中、各地区に協働支援セ
ンターが設立し、皆さんと一緒に考
えていく必要がある。また建設課へも要望
する。

産廃の煙の調査を

町民

町内産業廃棄物処理施設周辺の方
は煙の中で生活されている。しっ
かり成分調査をし、改善してもらいたい。

議会

以前、議会としても県へ要望した
が、難しいのが現状だ。今後は産
業建設常任委員会で調査検討していく。

臭気対策を

町民

切田の野球場では、ハエも多く悪
臭がするので対策を考えて欲し
い。

議会

産業建設常任委員会で調査検討し
ていく。

町立病院は

町民

町立病院の現状や協定書の履行を
議会ですっかり監視・確認をして



6年生の授業風景（油木小学校）

ほしい。

議会

医師の不足や、看護師の退職の問題もある。病院経営にしても大きな課題があるので議会でも引き続き調査・検討していく。

町民

町立病院の待ち時間が長い。何とか対策はないものか。

議会

電子カルテが充分に稼働すれば、時間短縮に繋がると説明を受けているが、早急に稼働できるように要望していく。

家賃は

町民

町営住宅の家賃の基準がよくわからない。高すぎるのではないかなければ他地域からの入居も望めるのでは。

議会

補助金で建築しているので、法律に基づいた基準通りの家賃となっている。基本は低所得者向けの住宅で町だけで家賃を決めるわけにはいかない。

学力の向上を

町民

小学校の学力は全国レベルより上、中学校はそれよりはちょっと下がっているという報告だったが、中学校の教育に問題があるのか。

議会

その分析はできていないが、中学校・高校でもさらに成績が伸びていくように、教育委員会と協議していく。

庁舎と病院は

町民

庁舎と病院は耐震強度がないのにまだ対応ができていない。方針としてはどうなっているのか。

議会

新町長の対応にかかってくる。病院はともかく庁舎は建て替えの場合国道沿いという協定書の件もありませんか難しい。

緊急時の対応は

町民

町内業者が除雪や緊急時の対応をしているが、今のままではできなくなる。対策をする必要があるのでは。

議会

地元業者の育成の観点から、入札制度や雇用などの助成なども考える必要があると思う。

ふるさと納税は

町民

ふるさと納税が4億近くあるが、行先は決まっているのか、また町へはいくら入るのか。

議会

町・自治振興会・NPO法人にふるさと納税がある。NPO法人の目的別税は5%の手数料をいただいている。

町民

ふるさと納税で情報の発信のできない自治振興会もある。仕組みとして何かないか。

議会

行政のスタンスとしては自治振興会にお任せだが、今後協働支援センターで取りまとめるの発信も考えられる。

一般質問

町政の1111を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式

問 町立病院の待ち時間短縮を

橋本 輝久 議員



答 日々取り組んでいる

Q 町立病院を受診されている住民の方から、待ち時間が非常に長いという声が多くある。昨年電子カルテを導入し、いまだ改善されていないが正常に機能が発揮され、待ち時間の解消が図れるのか。

A 町長 医療の安全を確保する上で、電子カルテと合わせて、一年間は、診察に必要な情報

を保存している紙カルテを利用することにしていく。特殊な例として時間がかかるケースはあるが、待ち時間の短縮になるよう日々取り組んでいる。また8月、9月に待ち時間調査を実施予定だ。

長期総合計画策定は

Q 平成28年度に策定予定だが、議会・住民参加・庁内での策定体制となっている。住民参加についてどのように行うのか。

A 町長 住民参加として総合審議会の委員に、自治振興会や青年会など各種団体からの委員を選任していく。また住民アンケートを行うとともに、昨年の総合戦略策定時のアンケートなども活用していきたい。

備後圏域連携協議会

Q 備後圏域連携協議会は、わが町にどのような効果があるのか。

A 町長 農産物の加工品であるワイン・リキュール特区や、地産外消を見越した道の駅ネットワーク化による農産物の売り上げ拡大や、魅力を高めるなどして情報発信を行う。自治体単独で実施するより、広域的に連携して取り組んだほうが良い事業が行える。



町立病院の待ち合い室

問 公共水道施設の確保は

久保田 龍泉 議員

答 経営面から困難だ



Q 旧神石中学校跡地は、いずみ保育所と特別養護老人ホーム神寿苑が移転予定であるが、上水道がなく水源は大丈夫か。

A 町長 それぞれで確保するよう確認している。いずみ保育所は旧中学校の水源を利用する。

Q 以前、中学校と神石小で水源を共有していた。時期によって不足したことがあったが、その対応は。また今後の水源確保は町営でできないか。

A 町長 今の水源の水質調査と水質検査を行い、不足のないよう対応する。地区内の水道施設希望者は少なく、

空き家対策

Q 昨年9月から協議している県空き家対策推進協議会の進捗状況は。

A 町長 5月末に特定空き家の判断基準が示された。これを活用し危険家屋の実態調査をする。

Q 実態調査は誰がするのか。

A まちづくり推進課長 シルバー人材センターに委託予定で、7月末に発注をかけて秋ごろ完了したい。



請願審査の現地調査（旧神石中学校跡地）

Q 三原市では、危険家屋の撤去に行政代執行が行われたが本町の考えは。

A 建設課長 隣接地に被害を及ぼす空き家は所有者に通知を行い是正措置をとるよう促している。

Q 特定空き家に指定された場合の解体費補助の検討は。

A 建設課長 町外の空き家の所有者からアンケートをとり、結果をもとに制度の検討をしている。

一般質問

問 自然環境保全を

答 町条例制定を検討

寄定 秀幸 議員



Q 里山保全、森林施業、観光振興、森林セラピーやバイオマスの活用など、自然環境の保全と利活用は本町の重要な取り組みである。しかし、環境保全に逆行するかのよう、大矢の産廃施設からの煙は山の木々から緑を奪い地元住民の健康への影響も心配される。産廃の煙と悪臭から自然環境を保全するため、町独自の条例制定など、厳正に取り組みべきでは。

A 町長 県は、ダイオキシシンが検出されたときは、操業停止にした。しかし、一時的に改善しても抜本的な改善はできていない。

町独自の調査が可能と

なる条例制定を検討し、厳正なる調査実績に基づき、県と連携し対応したい。

スポーツ振興を

Q スポーツ基本法に基づき「スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ

振興を推進すべきでは。

A 教育長 本町ではスポーツ推進計画は策定できていないが必要と思う。

Q スポーツを通じた青少年育成への取り組みは。

A 教育長 スポーツ少年団やスポーツ教室の支援と育成、アスリート事業の推進や放課後子ども教室の支援に努めている。



産廃施設からの煙

問 長期総合計画の策定は

木野山 孝志 議員



答 協働による将来像を描く

Q 長期総合計画の策定は今後の神石高原町のあるべき姿が示されるだけに、町民の関心は高い。

A 町長 ①スケジュールと基本的な考え方は、②一次長期総合計画目標の達成度とその評価は、③他の計画との整合性については。

町長 ①6月21日第1回審議会を開き諮問。平成29年2月審議会答申を出し、3月議会議決の予定だ。

また、人口減少社会の中、各種の政策課題に対して住民と行政の協働による将来像を描く。
②住民アンケートを実施し、達成度と評価を行う。
③各計画は事業ごとでの計画となっており整合性をはかりたい。財政運営も必須であり財政推計も行う必要がある。

Q 長期総合計画は、基本構想と、基本計画及び実施計画の三重構造である。議会はどこまでかかわることができるのか。

A まちづくり推進課長 「実施計画」は個別の細部にわたる事業計画

で毎年度予算審議や、過疎計画で議決を頂きたい。長期総合計画は大所高所から見た大きな括りで、神石高原町の将来を表現した「基本構想」「基本計画」のところで議決を頂きたい。

Q 長期総合計画は、個別の計画が示されないとまちの将来像が具体的に見えない。この部分はしっかりと議論すべきと思うが、町民に分かり易い形での策定をお願いしたい。

A まちづくり推進課長 まちの将来像が町民に分かりやすい計画策定を行いたい。



神石高原中学校の体育祭

問 庁舎の改築は



松本 彰夫 議員

答 補強の可能性を調査

Q 町立病院も大きな役割を果たす。耐震性

町立病院の改築は

A 町長 今回の補正予算で、専門家に依頼して、補強の可能性について調査し、検討する。

Q 災害発生時は、役場が対策本部となるが庁舎は耐震性を満たしていない。
役場の改築については、新町長に託すと言われたが、どう引き継ぐのか。

を満たしていないが改築は。
A 町長 災害時に、町内の医療救護の要となるのが町立病院だが、西館は耐震不足との結果が出ている。病院改革検討委員会で、将来の町立病院のあり方と、適正規模について協議している。
入院患者の減少による収益の減少なども踏まえ、間違いのない選択をしたい。

危険箇所の把握は

Q 本町で一番心配される災害は、大雨や集中豪雨による土砂災害などである。危険箇所をどのように把握しているのか。

A 建設課長 危険区域の指定が2箇所、土石流危険渓流箇所151、地滑り危険箇所2、急傾斜崩壊危険箇所776である。

県が、土砂災害危



地すべり災害の復旧現場

険箇所をパトロールしている。
Q 島根原発に事故があった場合、松江市忌部町の住民を受け入れる事になっているが、受け入れ態勢の準備は。
A 町長 受け入れの避難経路として「スコーラ高原神石コスモドーム駐車場」を指定してある。その後の避難場所は、総合交流センター神石の里、油木体育館、豊松多目的体育館、高蓋体育館、三和公民館だ。

問 訪日外国人への対応は

答 協議を始めた

赤木 俊一 議員



Q 政府は日本を訪れる外国人観光客の誘致目標として2020年には4000万人、消費額も8兆円を目標としている。

A しかし、東京や大阪の大都市圏は受け入れが限界に近づいているため、その受け皿が地方に求められている。
わが町の対応は。

A 町長 本町は外国人観光客に対して積極的誘致はしていないが、帝釈峡には韓国や中国の方が訪れている。どう対応していくか関係団体と協議を始めた。

Q 神龍湖は昨年アオコが大量発生し、観光地として問題があるが対策は。

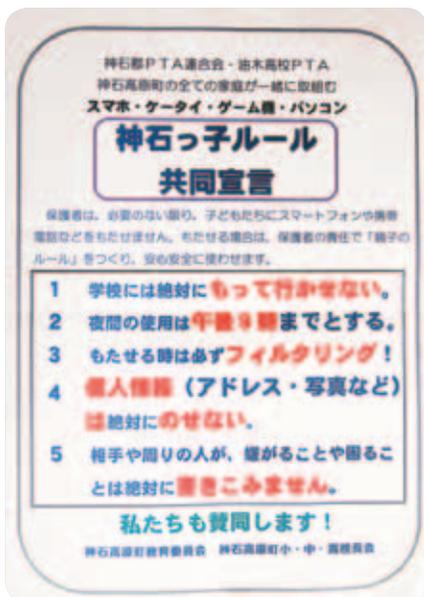
A まちづくり推進課長 アオコの大量発生に対しては、中国電力を中心に対策を協議中だ。

ICT対策

Q 携帯電話やスマホなどに関係する事件に子どもたちがかわる報道は後を絶たない。正しい使い方の教育が喫緊の課題だ。学校の現場やPTAでは危機感をもって

独自の対応をしている。教育委員会は電子メディアの問題にどう考え、対応しているか。
A 教育長 昨今の情報化の進展は著しい。児童生徒が事件に巻き込まれたり被害者にも加害者にもなりうる。校長会を通じ配布物などにより啓発を行っており、道徳教育においても指導を行っている。保護者に対しては研修会などで啓発をしている。

Q 利用時間が長いほど学力に影響がある。対策は。
A 教育長 県の教育委員会に準じて指導している。



神石っ子ルール共同宣言



移住相談の様子（東京）

Q 子育て世代の移住者で、不安はやはり小児科が近くにないことだが、本当に安心して子育てができる環境とはいえないのでは。

A 町長 全国的にも小児科医が少ない中、極め

Q 本町の定住対策や子育て支援策は全国に誇れる施策だと思っが、町の魅力をもっと全国へ発信するべきでは。

A 町長 現在、町のPRは充分とは思っていない。今年度は定住専門のサイトを設け、情報発信を強化する。

Q 今後も、町の魅力を発信して全国の移住希望者を受け入れていく計画はあるのか。

A まちづくり推進課長 平成31年度目標値に5年間で300人の増加を掲げており、空き家活用、住宅取得支援や移住情報の発信強化を計画している。

問 町の魅力を全国へ

横山 素子 議員



答 情報発信の強化

て難しい。

危険箇所の調査を

Q 町内の落石危険箇所や法面崩壊箇所の調査を改めてするべきでは。

A 町長 現在は、油木・神石地域においてはシルバー人材センターで、三和・豊松地域では農業公社へ委託し、道路パトロールを行っている。今後は法面の巡視もお願ひし、落石などの報告があれば、調査していく。

Q 支障木や草が伸び放題になっては、観光面からみても景観がよくないと思う。県へ要望したらどうか。

A 建設課長 今までも要望して、早く刈っていたいただいた事例がある。今後も状況を見ながら、検討していく。

問 町で油木高校の寮建設を

横尾 正文 議員



答 現時点での建設は困難

Q 入寮希望者の中で入寮できなかった生徒の対応と、今後の動向は。また、生徒を確保するために町での建設が必要では。

A 教育長 入寮出来なかった生徒の対応については、バス停からの距離などの通学難易度を調査し、該当保護者と連絡を取り、了承を得て決定しているようだ。今後の動向は、町外からの生徒が増加傾向にあるため、希望者が寮の定員を超える状況は続く。

現時点での寮の建設は困難である。今年の入寮状況は、女子は定員割れだったが、男子は定員24人に対して31人の希望者があり、7人入寮出来なかった。現段階では町外通学者に対してバス定期券の補助拡大も検討の範囲である。



寮生活を楽しむ油木高校生徒たち

Q 新築では費用がかかるといのであれば、使用していない建物の改築で対応できないか。

A 町長 元の信用金庫の建物などの改築もひとつの方法と思う。

A 町長 来年度は県内の医者が配属され、10年後には100人を超す医者が配属されることになる。

広島大学医学部の「ふるさと枠」

Q 来年度から「ふるさと枠」の医者が中山間地の公立病院へ配属される。町立病院への配属は。

A また指定管理者との協議は。

今後、病院の配置希望を診療科ごとに要望の調査があり、診療状況や教育指導体制も問われることとなる。また、指定管理者と協議するが、当初からの配置は厳しい。

その他の質問

・治山ダムについて

条例制定・改正 こんなことが決まったよ

全会
一致

指定管理の指定

- ・三和地区
上グラウンドを上自治振興会
へ指定管理

全会
一致

名称の変更

- ・地籍調査により、神石高原町
の上豊松のうち、矢原谷・堂
面・下谷・寺谷・中筋・米見
山・中道の一部の字名の名称
の変更

全会
一致

条例の一部改正

- ・消防防災無線局条例
消防デジタル無線整備に
伴う移動局整備を変更し
たため
- ・農業委員会の委員及び農地利
用最適化推進委員の定数
農業委員の選出方法を公選
制から町長の選任制に変更
(議会の同意を得て任命)
農地利用最適化推進委員の
新設(農業委員会が委嘱)



新規導入した消防デジタル無線機(本庁)

- ・特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償
農地利用最適化推進委員の
報酬を年額17万3千円

- ・国民健康保険税条例

国民健康保険税の均等割の
一部改正のため(負担増)

- ・町立病院の利用料金並びに手
数料に関する条例

居宅介護サービス、介護予
防サービスでの料金が発生
するため

議員発議 概要

地方財政の充実・強化を 求める意見書

地方自治体は、子育て支援、医療、介
護などの社会保障、環境対策、地域交通
の維持など、果たす役割が拡大する中で、
人口減少対策を含む地方版総合戦略の策
定・実行など、新たな政策課題に直面し
ている。

平成29年度の政府予算、地方財政の検
討にあたっては、歳入・歳出を的確に見
積もり、人的サービスとしての社会保障
予算の充実、地方財政の確立を目指す必
要がある。主要要望として、地方交付税
の財源保障機能・財政調整機能の強化を
はかり、市町村合併の算定特例の終了を
踏まえた新たな財政需要の把握、小規模
自治体に配慮した段階補正の強化などの
対策を講じることなど。

提出者 松本 彰夫 議員
賛成者 橋本 輝久 議員

常任委員会の活動報告

総務文教常任委員会

調査事項

・北広島町の議会中継の取り組みと自主番組放送

調査日

・平成28年4月27日(水)

調査内容

☆ケーブルテレビによる議会中継

・平成23年3月議会からは、予算・決算特別委員会の審議・採決についてもライブ中継をしている。

☆インターネットによる議会中継

・平成27年度のライブ中継アクセス数は、毎定例会200〜300件あり録画配信アクセス数は、最大は929件あり年間合計は、4,846件である。

☆自主番組制作

・町内の各種行事や町民の人を対象にした番組で紹介

まとめ

・ケーブルテレビの放映では、20時から23時までの3時間を限度として行っていることや、再々放送も行っていることは、今後検討する。
・インターネット放映では、アクセス件数も多くあり、議会に目を向けていただくための一つの手段としても検討する。



番組制作室の視察

産業建設常任委員会

【協議報告】

開催日時

平成28年6月14日(火)

協議事項

帝釈峡神龍湖の水質改善に関して役場の3課(産業・まちづくり推進・環境衛生)との協議

協議事項の報告

○広島県、中国電力の具体的な対策

中国電力は、暫定的な対策としてアオコが多く発生する湖の上流にフェンスを設置して拡散を防ぐ。

○協議結果

中国電力の対策の間は、EM活性液などの神龍湖への使用は控えて頂きたい。ただしEM菌の農業分野への活用は今後も推奨して頂く。



設置中のフェンス

追跡ありやあどうなったん？

町営小畠住宅建替事業の概要

1 事業概要

昭和50年に建設された町営小畠住宅は、公営住宅法で定める耐用年数35年を超え、老朽化が著しいことから退去後の新規募集を行っておらず、13戸中8戸を政策空き家として管理していた。

公共施設や医療施設に近いという立地にも恵まれた小畠住宅を定住対策の受け皿として積極的に活用するため、「神石高原町営住宅長寿命化計画」に基づき平成27年～28年で建替えを行うこととした。

2 事業計画

① 総事業費 2億1327万円
② 場所 神石高原町小畠2160番地

③ 敷地面積 2,490㎡

④ 事業内容

木造住宅10戸を建築

2DK5戸、

2DK身障者用1戸、

3DK4戸

平成27年度に平屋建4戸完成した現在は、平屋建6戸を建設中



小畠住宅外観



室内の様子

平成27年度 第3セクター販売状況

上段：27年度／下段：26年度

単位：万円（四捨五入）

会社名	売上	当期利益	施設管理料等	運営補助等
神石高原農業公社	7103	97	221	600
	7415	16	221	450
(株)帝釈峡スコラ	9492	203	843	79
	8377	▲307	843	0
(有)直売公社 まるごと市場	1億9794	286		320
	2億973	276		320
(有)油木百彩館	8319	▲49	18	100
	7689	▲57	18	100
(有)さんわ 182ステーション	4億3736	94	369	
	4億3992	85	216	



道の駅のやまなみローソン



請願審査

総務文教常任委員会に
付託された請願

付託年月日

平成28年6月7日

件名

特別養護老人ホーム神寿苑を旧神石中学校跡地へ移転するための用地貸与

委員会の意見

特別養護老人ホーム神寿苑の施設は、町にとっても重要な施設と認識している。

建て替え希望用地は、いずみ保育所の建設予定地である保育所用地を十分に確保し、支障のないよう配慮し、貸与すること。

まちの声

○「みんなの町議会」を初めて読みました。行事の写真や議会クイズは良かったですね。これからも頑張ってください。
(30才 男性 三次市)

○初めて議会広報誌を見ました。とても分かりやすく感じしました。
(67才 男性 神辺町)

○町外の方の激励のことは、大変うれしく思います。
(79才 女性)

○若い人の支援は有り難いと思いました。私たちのような高齢者が何かお役に立てる事はないかと考えますが、良い知恵が浮かびません。足を引っ張らないようにするのが一番ですね。
(63才 男性)

○高齢者の方々のご意見も必要です。今後も遠慮なくお聞かせ下さい。
(63才 男性)

○わかりやすい町議会だよりで大変良いと思います。クイズも当たりますように。
(63才 男性)

○これからもいろいろなご意見をお願いします。

○若い人の未婚者が多い様に思います。出会いの機会を作って下さったり、若者定住対策を幅広く考えて下さったら、人口増へつながらないかと思えます。
(80才 女性)

○今後も効果的な定住対策は重要なので、検討していきます。

○みんなの町議会がコンクールで受賞されおめでとうございます。これからも頑張ってください。
(87才 男性・78才 女性)

○これからも精進していきます。引き続きご愛読をお願いします。

第28回 議会クイズ当選者

油木地区

馬屋原 紀美子さん

おめでとうございます。

クイズの答え

- ① 95
- ② 子育て
- ③ はやぶさ

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。

元気なグループ紹介だよ

利芳美会 (神石地区)



利芳美会は、東京の「花柳流」の流れをくむ新見市にある「若桜会」の姉妹グループとして平成18年に結成されました。

現在、小塩優花ちゃん（7歳）・清花ちゃん（5歳）・健太君（3歳）の三兄弟を含め7人で活動されています。

花柳利芳美（難波ますみ）先生の指導のもと、毎週土曜日に練習が行われ、新見市で行われる「新年舞初」、夏の「ゆかた会」の年2回あるグループ全体での発表会に参加されています。

また、その他に神石高原町の文化祭や老人施設、各地区の老人福祉大会などで踊りを披露されています。

基本は日本舞踊ですが、老人施設などでの踊りが多いため、現代舞踊も取り入れられておられます。

とくに三人の子供さんの踊りはとてもかわいらしく、皆さん、是非一度観てみて下さい。

第29回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいってください。

1. 6月補正予算 豊松〇〇〇選果場
2. 一般質問 〇〇〇〇の待ち時間短縮を
3. 条例の一部改正 消防〇〇無線局条例

《ヒント》 議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-11522
神石高原町小島二〇二五番地
神石高原町議会事務局「第29回議会クイズ係宛」

《締め切り》

8月15日（月）消印有効

《個人情報取り扱いについて》
ご記入いただきました個人情報
は、賞品発送および『まちの声』な
どの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか？ 次回の定例会は9月です

表紙の紹介



独創的な演出と、白熱の演技が高く評価され、見事、クリエイティブ演出賞を受賞されました。益々のご活躍を期待します。

編集後記

議会広報委員会は、この夏、京都府と兵庫県の3町からの視察を受けました。

以前は他の市町へ視察に行くことが多かったのですが、視察を受ける側になったという事は、広報委員会の精進の賜物と関係各位のご協力のお蔭とします。

また、今回の「まちの声」では、町外の方からのご意見も頂き、大変ありがたいことだと思っております。

今後も、町民の方にもっと読んでいただけるように読みやすく、わかりやすい紙面にしていくよう努力してまいります。
(横尾)

議会広報常任委員会

- 委員長 横山 素子
- 副委員長 赤木 俊二
- 委員 橋本 輝久
- 委員 横尾 正文

■発行 / 神石高原町議会

■編集 / 議会広報常任委員会

■発行責任者 議長 藤田晃己

■住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201